参考資料	4

令 和 7 年 度

仙 台 市 高 速 鉄 道 事 業 会 計
決 算 説 明 資 料

１．決　算　の　概　況　…　P2
２．事　業　実　績　表　…　P3～P5
３．予 算 決 算 比 較 表　…　P6～P15
４．建設改良事業の概要　…　P16

仙台市交通局

１．決算の概況

本年度の高速鉄道事業は，南北線と東西線とが一体となって十文字型の骨格交通軸を形成し，一日に２６万人もの人々を運ぶ本市における基幹的な公共交通機関として，持続可能な事業運営を目指し，「仙台市交通事業経営計画」に基づく各種取組みを進めてまいりました。

危機・自然災害への対応の取組みとして，大地震の発生を想定した防災訓練や，地下鉄車両内における不審者への対応訓練を実施するなど，お客さまの安全確保に向けた意識と対応能力の向上に努めました。また，施設設備の計画的な維持更新の取組みとして，南北線において，新型車両の 2・3 編成目の営業運転を開始したほか，老朽化した動力監視設備等の更新を実施しました。

利用しやすい環境整備の取組みとして，南北線において，駅ごとに順次実施してきたホームと車両の隙間縮小事業を完了したほか，東西線において，クレジットカードのタッチ決済による新たな乗車サービスを開始するなど利便性の向上に努めました。

公共交通の利用促進の取組みとして，家族連れの利用喚起等を目的に，小児運賃無料化制度（「ハッピー・ファミリー・ライド」）の本格導入に向けた実証実験について，実施期間を拡大して行ったほか，大型イベント等の開催に合わせ，「仙台 MaaS」にて地下鉄両線を一定時間内乗り放題となるデジタル QR 企画乗車券を販売しました。

経営の健全化の取組みとして，南北線において委託対象駅を追加し，21 駅において駅業務委託を実施したほか，コロナ禍を経て近年の急激な経営環境の変化の中，将来にわたり持続可能な経営を確立することを目的に，新たな交通事業経営計画（「仙台市交通事業経営計画 2026-2035」）を策定しました。

このような状況のなか，乗客数は 95,674 千人（1 日平均 262,121 人）と前年度に比較して 2,441 千人，2.6 パーセントの増，乗車料収入（消費税及び地方消費税抜き）は 163 億 2 千 1 百万円と前年度に比較して 3 億 4 千 5 百万円，2.2 パーセントの増となりました。本年度における収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）につきましては，前年度に比較して 2 億 1 千 2 百万円悪化し，6 億 8 千 5 百万円の純損失となり，当年度未処理欠損金は 992 億 9 千 8 百万円となっております。

今後も，多額の累積損失に加え，車両更新等の大規模な施設設備の更新にかかる企業債の償還負担や，物価上昇に伴う経費の増嵩等により，引き続き厳しい経営環境が見込まれますが，本市都市交通における基幹交通機関としての役割を果たせるよう，経営計画に基づく不断の経営改善の各種取組みを継続し，安全・安心を最優先とした持続可能な事業運営を目指してまいります。

2. 事 業 実 績 表

（南北線＋東西線）

区分＼年度		単位	令和7年度（C）	令和6年度（D）	対前年度比較 増減(△減)（C)-(D)	対前年度比較 比率（C)/(D)%
営業キロ		km	28.7	28.7	0.0	100.0
在籍車両		両	144	148	△ 4	97.3
年間走行キロメートル		km	11,446,101	11,465,777	△ 19,676	99.8
乗客数	定期外（A）	人	41,269,350	40,844,831	424,519	101.0
	定期	人	54,404,700	52,387,920	2,016,780	103.8
	計（B）	人	95,674,050	93,232,751	2,441,299	102.6
	一日当り	人	262,121	255,432	6,689	102.6
乗車料収入	定期外	千円	9,196,245	9,113,364	82,881	100.9
	定期	千円	7,124,873	6,863,024	261,849	103.8
	計	千円	16,321,118	15,976,388	344,730	102.2
	一日当り	千円	44,715	43,771	944	102.2
職員数（管理者除く）		人	437	435	2	100.5
輸送人員定期外比率（A)/(B)		%	43.1	43.8	△ 0.7	－

（注）乗車料収入の金額は，消費税及び地方消費税抜きである。

（参考）事業実績表路線別内訳（南北線）

区分＼年度		単位	令和7年度（C）	令和6年度（D）	対前年度比較 増減(△減)（C)-(D)	対前年度比較 比率（C)/(D)%
営業キロ		km	14.8	14.8	0.0	100.0
在籍車両		両	84	88	△ 4	95.5
年間走行キロメートル		km	6,144,975	6,159,535	△ 14,560	99.8
乗客数	定期外	人	30,180,216	29,963,333	216,883	100.7
	定期	人	42,066,780	40,670,700	1,396,080	103.4
	計	人	72,246,996	70,634,033	1,612,963	102.3
	一日当り	人	197,937	193,518	4,419	102.3
乗車料収入	定期外	千円	6,744,311	6,725,148	19,162	100.3
	定期	千円	5,154,158	4,990,112	164,047	103.3
	計	千円	11,898,469	11,715,260	183,209	101.6
	一日当り	千円	32,599	32,097	502	101.6

（注）1 乗車料収入の金額は，消費税及び地方消費税抜きである。
また，乗客数は南北線と東西線の乗換え分をそれぞれ含んでいる。
2 乗車料収入の金額は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって，合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP3における当該項目の数値が一致しない場合がある。

（参考）事業実績表路線別内訳（東西線）

区分＼年度		単位	令和7年度（C）	令和6年度（D）	対前年度比較 増減(△減)（C)-(D)	対前年度比較 比率（C)/(D)%
営業キロ		km	13.9	13.9	0.0	100.0
在籍車両		両	60	60	0	100.0
年間走行キロメートル		km	5,301,126	5,306,242	△ 5,116	99.9
乗客数	定期外	人	13,345,058	13,105,392	239,666	101.8
	定期	人	19,388,040	18,541,800	846,240	104.6
	計	人	32,733,098	31,647,192	1,085,906	103.4
	一日当り	人	89,680	86,704	2,976	103.4
乗車料収入	定期外	千円	2,451,934	2,388,216	63,719	102.7
	定期	千円	1,970,714	1,872,912	97,802	105.2
	計	千円	4,422,648	4,261,128	161,521	103.8
	一日当り	千円	12,117	11,674	443	103.8

（注）1 乗車料収入の金額は，消費税及び地方消費税抜きである。
また，乗客数は南北線と東西線の乗換え分をそれぞれ含んでいる。
2 乗車料収入の金額は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって，合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP3における当該項目の数値が一致しない場合がある。

3. 予 算 決 算 比 較 表

収益的収入（南北線＋東西線）　　（単位：千円）

区分 / 科目	令和7年度予算額 当初予算額	補正予算額	流用増減額	合計（A）	令和7年度決算額（B）	増減額（△減）（B）-（A）
高速鉄道事業収益	**24,008,414**	**0**	**0**	**24,008,414**	**23,442,254**	**△ 566,160**
営業収益	19,873,485	0	0	19,873,485	19,332,311	△ 541,174
運輸収益	18,373,182	0	0	18,373,182	17,831,483	△ 541,699
運輸雑収益	1,500,303	0	0	1,500,303	1,500,828	525
営業外収益	4,132,964	0	0	4,132,964	4,108,978	△ 23,986
受取利息及び配当金	923	0	0	923	5,757	4,834
他会計補助金	188,023	0	0	188,023	188,091	68
長期前受金戻入	3,757,986	0	0	3,757,986	3,760,231	2,245
雑収益	186,032	0	0	186,032	154,899	△ 31,133
特別利益	1,965	0	0	1,965	965	△ 1,000
過年度損益修正益	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
その他特別利益	965	0	0	965	965	0

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予 算 決 算 比 較 表

収益的支出（南北線＋東西線）　　（単位：千円）

区分 / 科目	令和7年度予算額 当初予算額	令和7年度予算額 補正予算額（△減）	令和7年度予算額 流用増減額（△減）	令和7年度予算額 合計（A）	令和7年度決算額（B）	増減額（△減）（B）-（A）
高速鉄道事業費用	**24,938,580**	**△ 485,619**	**0**	**24,452,961**	**23,365,295**	**△ 1,087,666**
営業費用	23,412,872	△ 422,000	△ 4,768	22,986,104	21,949,443	△ 1,036,661
人件費	4,541,249	0	0	4,541,249	4,167,047	△ 374,202
経費	9,533,621	△ 422,000	△ 4,768	9,106,853	8,484,157	△ 622,696
減価償却費	9,338,002	0	0	9,338,002	9,298,239	△ 39,763
営業外費用	1,474,708	△ 63,619	4,768	1,415,857	1,415,852	△ 5
支払利息及び企業債取扱諸費	1,406,120	△ 96,000	△29,116	1,281,004	1,281,001	△ 3
消費税及び地方消費税	67,588	32,381	34,737	134,706	134,705	△ 1
雑支出	1,000	0	△ 853	147	146	△ 1
特別損失	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
過年度損益修正損	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
予備費	50,000	0	0	50,000	0	△ 50,000

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予 算 決 算 比 較 表

収益的収支（南北線＋東西線）　　（単位：千円）

区分 / 科目	令和7年度予算額 当初予算額	補正予算額（△減）	流用増減額	合計（A）	令和7年度決算額（B）	増減額（△減）（B）-（A）
高速鉄道事業収益（再掲）	**24,008,414**	**0**	**0**	**24,008,414**	**23,442,254**	**△ 566,160**
高速鉄道事業費用（再掲）	**24,938,580**	**△ 485,619**	**0**	**24,452,961**	**23,365,295**	**△ 1,087,666**
当年度純損益（税込み）	△ 930,166	485,619	－	△ 444,547	76,959	521,506
当年度純損益（税抜き）	**△ 1,713,149**	**479,727**	**－**	**△ 1,233,422**	**△ 685,308**	**548,114**

繰越利益剰余金（△繰越欠損金）	△ 98,612,854	0	－	△ 98,612,854	△ 98,612,854	0
未処分利益剰余金（△未処理欠損金）	△100,326,003	479,727	－	△ 99,846,276	△ 99,298,162	548,114

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。ただし，当年度純損益（税抜き），繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については，消費税及び地方消費税抜きの額である。

（参考）収益的収支路線別予算決算比較表（南北線）

（単位：千円）

区分 / 科目	令和7年度予算額 当初予算額	補正予算額（△減）	流用増減額（△減）	合計（A）	令和7年度決算額（B）	増減額（△減）（B）-（A）
高速鉄道事業収益	**15,982,860**	**0**	**0**	**15,982,860**	**15,464,111**	**△ 518,749**
営業収益	14,583,428	0	0	14,583,428	14,047,056	△ 536,372
運輸収益	13,521,487	0	0	13,521,487	12,993,210	△ 528,277
運輸雑収益	1,061,941	0	0	1,061,941	1,053,846	△ 8,095
営業外収益	1,397,467	0	0	1,397,467	1,416,089	18,622
受取利息及び配当金	683	0	0	683	4,145	3,462
他会計補助金	133,093	0	0	133,093	133,131	38
長期前受金戻入	1,204,805	0	0	1,204,805	1,207,043	2,238
雑収益	58,886	0	0	58,886	71,770	12,884
特別利益	1,965	0	0	1,965	965	△ 1,000
過年度損益修正益	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
その他特別利益	965	0	0	965	965	0
高速鉄道事業費用	**12,650,086**	**△ 279,539**	**2,476**	**12,373,023**	**11,765,559**	**△ 607,464**
営業費用	11,894,863	△ 248,920	△ 4,768	11,641,175	11,064,712	△ 576,463
人件費	2,780,097	0	0	2,780,097	2,542,026	△ 238,071
経費	5,399,646	△ 248,920	△ 4,768	5,145,958	4,843,293	△ 302,665
減価償却費	3,715,120	0	0	3,715,120	3,679,393	△ 35,727
営業外費用	724,223	△ 30,619	7,244	700,848	700,847	△ 1
支払利息及び企業債取扱諸費	655,635	△ 63,000	△ 26,640	565,995	565,995	0
消費税及び地方消費税	67,588	32,381	34,737	134,706	134,706	0
雑支出	1,000	0	△ 853	147	146	△ 1
特別損失	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
過年度損益修正損	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
予備費	30,000	0	0	30,000	0	△ 30,000
当年度純損益（税込み）	**3,332,774**	**279,539**	**△ 2,476**	**3,609,837**	**3,698,552**	**88,715**

（注）1 消費税及び地方消費税込みの額である。
なお，路線別の内訳は，一部，運輸収益比や営業キロ比等により按分をしている。
2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって，合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP6～P8における当該項目の数値が一致しない場合がある。

（参考）収益的収支路線別予算決算比較表（東西線）

（単位：千円）

区分 / 科目	令和7年度予算額 当初予算額	補正予算額（△減）	流用増減額（△減）	合計（A）	令和7年度決算額（B）	増減額（△減）（B）-（A）
高速鉄道事業収益	**8,025,554**	**0**	**0**	**8,025,554**	**7,978,143**	**△ 47,411**
営業収益	5,290,057	0	0	5,290,057	5,285,255	△ 4,802
運輸収益	4,851,695	0	0	4,851,695	4,838,274	△ 13,421
運輸雑収益	438,362	0	0	438,362	446,982	8,620
営業外収益	2,735,497	0	0	2,735,497	2,692,888	△ 42,609
受取利息及び配当金	240	0	0	240	1,612	1,372
他会計補助金	54,930	0	0	54,930	54,960	30
長期前受金戻入	2,553,181	0	0	2,553,181	2,553,189	8
雑収益	127,146	0	0	127,146	83,128	△ 44,018
高速鉄道事業費用	**12,288,494**	**△ 206,080**	**△ 2,476**	**12,079,938**	**11,599,737**	**△ 480,201**
営業費用	11,518,009	△ 173,080	0	11,344,929	10,884,731	△ 460,198
人件費	1,761,152	0	0	1,761,152	1,625,021	△ 136,131
経費	4,133,975	△ 173,080	0	3,960,895	3,640,864	△ 320,031
減価償却費	5,622,882	0	0	5,622,882	5,618,846	△ 4,036
営業外費用	750,485	△ 33,000	△ 2,476	715,009	715,006	△ 3
支払利息及び企業債取扱諸費	750,485	△ 33,000	△ 2,476	715,009	715,006	△ 3
予備費	20,000	0	0	20,000	0	△ 20,000
当年度純損益（税込み）	**△ 4,262,940**	**206,080**	**2,476**	**△ 4,054,384**	**△ 3,621,593**	**432,791**

（注）1 消費税及び地方消費税込みの額である。
なお，路線別の内訳は，一部，運輸収益比や営業キロ比等により按分をしている。
2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって，合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP6～P8における当該項目の数値が一致しない場合がある。

3. 予 算 決 算 比 較 表

資本的収入（南北線＋東西線）　　（単位：千円）

区分 / 科目	令和7年度予算額 当初予算額	補正予算額	流用増減額	繰越額	合計（A）	令和7年度決算額（B）	翌年度繰越額（C）	増減額（△減）(B)+(C)-(A)
高速鉄道事業資本的収入	**12,656,752**	**64,048**	**0**	**960,000**	**13,680,800**	**12,367,797**	**969,968**	**△ 343,035**
企業債	8,598,000	16,000	0	768,000	9,382,000	8,350,000	745,000	△ 287,000
特例債	459,000	0	0	0	459,000	459,000	0	0
平準化債	1,253,000	0	0	0	1,253,000	1,253,000	0	0
資本費負担緩和分企業債（借換）	516,000	0	0	0	516,000	516,000	0	0
出資金	1,677,000	12,000	0	192,000	1,881,000	1,627,000	193,000	△ 61,000
他会計補助金	136,126	16,825	0	0	152,951	133,152	16,825	△ 2,974
国庫補助金	0	19,223	0	0	19,223	3,264	15,143	△ 816
その他資本的収入	17,626	0	0	0	17,626	26,381	0	8,755

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予 算 決 算 比 較 表

資本的支出（南北線＋東西線）　　（単位：千円）

区分 / 科目	令和7年度予算額 当初予算額	補正予算額	流用増減額	繰越額	合計 (A)	令和7年度決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	増減額（△減） (B)+(C)-(A)
高速鉄道事業資本的支出	**19,687,372**	**64,806**	**0**	**960,632**	**20,712,810**	**19,395,079**	**970,849**	**△ 346,882**
建設改良費	8,689,150	64,806	0	960,632	9,714,588	8,426,946	970,849	△ 316,793
企業債償還金	10,968,112	0	0	0	10,968,112	10,968,107	0	△ 5
投資	100	0	0	0	100	26	0	△ 74
その他資本的支出	10	0	0	0	10	0	0	△ 10
予備費	30,000	0	0	0	30,000	0	0	△ 30,000

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予 算 決 算 比 較 表

資本的収支（南北線＋東西線）　　（単位：千円）

区分 / 科目	令和7年度予算額 当初予算額	補正予算額（△減）	流用増減額	繰越額	合計（A）	令和7年度決算額（B）	翌年度繰越額（C）	増減額（△減）(B)+(C)-(A)
高速鉄道事業 資本的収入(再掲)	**12,656,752**	**64,048**	**0**	**960,000**	**13,680,800**	**12,367,797**	**969,968**	**△ 343,035**
高速鉄道事業 資本的支出(再掲)	**19,687,372**	**64,806**	**0**	**960,632**	**20,712,810**	**19,395,079**	**970,849**	**△ 346,882**
差引	**△ 7,030,620**	**△ 758**	**0**	**△ 632**	**△ 7,032,010**	**△ 7,027,282**	**△ 881**	**3,847**
補てん財源	**4,249,000**	**485,619**	**19,776**	**87,330**	**4,841,725**	**5,009,375**	**88,259**	**255,909**
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	776,954	5,892	0	87,330	870,176	752,477	88,259	△ 29,440
繰越工事資金	0	0	0	0	0	△ 10,000	0	△ 10,000
損益勘定留保資金	6,306,644	0	19,776	0	6,326,420	6,073,655	0	△ 252,765
当年度純損益	△ 1,713,149	479,727	0	0	△ 1,233,422	△ 685,308	0	548,114
前年度繰越金	△ 1,121,449	0	0	0	△ 1,121,449	△ 1,121,449	0	0
資本費負担緩和分企業債	**630,000**	**△ 82,000**	**0**	**0**	**548,000**	**548,000**	**0**	**0**
当年度末資金剰余額	**△ 2,151,620**	**402,861**	**19,776**	**86,698**	**△ 1,642,285**	**△ 1,469,907**	**87,378**	**259,756**

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。ただし，補てん財源及び当年度末資金剰余額については，消費税及び地方消費税抜きの額である。

○ 資金不足比率　　（単位：千円，％）

資金不足額（※1）(a)	事業規模（※2）(b)	資金不足比率 (a)/(b)
0	17,703,167	－

※1 資金不足額については，解消可能資金不足額24,619,266千円を控除した額である。
※2 事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

（参考）資本的収支路線別予算決算比較表（南北線）

（単位：千円）

区分 / 科目	令和7年度予算額 当初予算額	補正予算額	流用増減額（△減）	繰越額	合計（A）	令和7年度決算額（B）	翌年度繰越額（C）	増減額（△減）（B）+（C）-（A）
高速鉄道事業資本的収入	**8,272,126**	**64,048**	**0**	**960,000**	**9,296,174**	**7,994,530**	**969,968**	**△ 331,676**
企業債	5,201,000	16,000	0	768,000	5,985,000	4,970,000	745,000	△ 270,000
特例債	173,000	0	0	0	173,000	173,000	0	0
平準化債	1,124,000	0	0	0	1,124,000	1,124,000	0	0
資本費負担緩和分企業債（借換）	351,000	0	0	0	351,000	351,000	0	0
出資金	1,287,000	12,000	0	192,000	1,491,000	1,240,000	193,000	△ 58,000
他会計補助金	136,126	16,825	0	0	152,951	133,152	16,825	△ 2,974
国庫補助金	0	19,223	0	0	19,223	3,264	15,143	△ 816
その他資本的収入	0	0	0	0	0	113	0	113
高速鉄道事業資本的支出	**12,262,503**	**64,806**	**△ 1,914**	**960,632**	**13,286,027**	**12,006,554**	**970,849**	**△ 308,624**
建設改良費	6,633,069	64,806	△ 1,914	960,632	7,656,593	6,395,170	970,849	△ 290,573
企業債償還金	5,611,364	0	0	0	5,611,364	5,611,360	0	△ 4
投資	60	0	0	0	60	23	0	△ 37
その他資本的支出	10	0	0	0	10	0	0	△ 10
予備費	18,000	0	0	0	18,000	0	0	△ 18,000
差引	**△ 3,990,377**	**△ 758**	**1,914**	**△ 632**	**△ 3,989,853**	**△ 4,012,024**	**△ 881**	**△ 23,052**

（注）1 消費税及び地方消費税込みの額である。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって，合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP11～P13における当該項目の数値が一致しない場合がある。

（参考）資本的収支路線別予算決算比較表（東西線）

（単位：千円）

区分 / 科目	令和7年度予算額 当初予算額	補正予算額	流用増減額	繰越額	合計（A）	令和7年度決算額（B）	翌年度繰越額（C）	増減額（△減）（B）+（C）-（A）
高速鉄道事業資本的収入	**4,384,626**	**0**	**0**	**0**	**4,384,626**	**4,373,267**	**0**	**△ 11,359**
企業債	3,397,000	0	0	0	3,397,000	3,380,000	0	△ 17,000
特例債	286,000	0	0	0	286,000	286,000	0	0
平準化債	129,000	0	0	0	129,000	129,000	0	0
資本費負担緩和分企業債（借換）	165,000	0	0	0	165,000	165,000	0	0
出資金	390,000	0	0	0	390,000	387,000	0	△ 3,000
その他資本的収入	17,626	0	0	0	17,626	26,267	0	8,641
高速鉄道事業資本的支出	**7,424,869**	**0**	**1,914**	**0**	**7,426,783**	**7,388,525**	**0**	**△ 38,258**
建設改良費	2,056,081	0	1,914	0	2,057,995	2,031,776	0	△ 26,220
企業債償還金	5,356,748	0	0	0	5,356,748	5,356,747	0	△ 1
投資	40	0	0	0	40	2	0	△ 38
予備費	12,000	0	0	0	12,000	0	0	△ 12,000
差引	**△ 3,040,243**	**0**	**△ 1,914**	**0**	**△ 3,042,157**	**△ 3,015,258**	**0**	**26,899**

（注）1 消費税及び地方消費税込みの額である。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって，合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP11～P13における当該項目の数値が一致しない場合がある。

4. 建設改良事業の概要

（単位：千円）

科目	令和7年度 事業費	主たる事業
建物	2,097,510	動力監視設備更新
線路設備	11,101	橋りょう検査路改修
電路設備	1,300,466	高圧変成設備等更新
車両	2,384,339	南北線車両更新
機械装置	2,399,260	券売機及び精算機更新
工具・器具・備品	67,334	庁内ＬＡＮシステムサーバ設置
施設利用権	25,043	変電所工事費負担金
その他無形固定資産	897	モバイルチャージシステム構築
リース資産	7,953	庁内ＬＡＮ端末リース料
受託工事費	15,267	線路設備改修
建設諸費	117,776	人件費及び事務経費
計	8,426,946	

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。